

debut!

作れば作るほど、使えば使うほど CO2 が相対的に減少する「紙」

さらに貧困を減らしゾウを増やす「紙」

バナナペーパー登場!



バナナペーパーって?



https://oneplanetpaper.com/about_bananapaper/
ワンプラネット・ペーパー®

アフリカザンビアのオーガニック畑で有機バナナ、収穫後のバナナの茎から「有機バナナ繊維」を採取しバナナペーパーの原料にし古紙や FSC 認証パルプを加え、日本の越前和紙の工場生産されているのがワンプラネット・ペーパー®のバナナペーパーです。

なんでそんなペーパー作るの?



今までは収穫時に廃棄されるだけだったバナナの茎の繊維を利用して作られています。通常の樹木が 10 年から 30 年で成長するのに対し、バナナの茎は 1 年以内に再生成長するため、より早い循環で活用できます。結果的に森林保護が実行される。さらにこの事業でザンビアの農村部にて 20 人を直接雇用しており、その収入等により 150 人を超える子供たちが学校に通うことができます (2020 年現在)。

そういうのって高くない?



アフリカザンビアから繊維を船で輸送、とその後の和紙技術での製紙工程を経てのバナナペーパー故にそれなりのコストが反映された値段となります。安価な紙は自分の為、高価な紙は他者、環境の為と考えましょう。

SDGsでしょ!



SDGs を標榜する企業、行政であれば当たり前環境負荷が高く、コストの安い「紙」ではなく、言うまでもなくバナナペーパー 1 折でファイナルアンサー!

